



乗るなら、

エコドライブ

環境政策課 224-5866

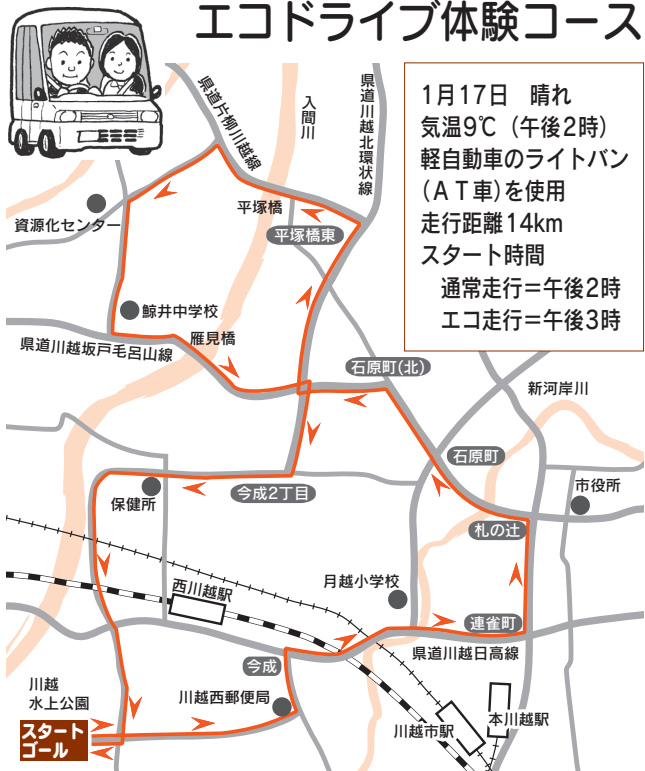


地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量は、依然として高い水準にあります。車や家電製品などによる家庭からの排出量増加は、この要因の一つです。県内の車の保有台数は三百万五千九百七台で、愛知県、東京都に続いて全国で二番目(平成22年3月末現在)。車からの温室効果ガス排出量を減らすためには、電車やバスなどの公共交通機関を利用し、車の使用回数を減らすことが大切です。「でも車は必要」という方のために、市街地を運転する時にちよつと意識するだけで実践できる、AT(オートマチック)車の「エコドライブ」を紹介します。

いつも通りに走る

普通に走ると、エコドライブするのではどのくらい燃費(燃料消費率)が違うのか。職員向け講習受講者・五味弘企(みひろき)主事、講師・岡田(おかだ)さとみ主事が実験しました。今回は小江戸川越マラソンのコースを元に走路を設定。まずはいつもどおりの運転でスタートしました。仕事でもプライベートでも頻繁に車に乗る五味主事。軽快な運転でコースを走り終えました。

エコドライブ体験コース



エコドライブで走る

二回目は走る前にエコドライブの方法を学び、岡田主事の指示を受けながら運転。エコドライブに難しい技術は必要ありませんが、いくつかのポイントがあります。

ポイント①乗る前

車は重くなるほど燃費が悪くなります。必要のない荷物は、降ろして運転しましょう。また、タイヤの空気圧も燃費に大きく影響します。小まめにチェックしましょう。

発進前にエンジンを温める暖機運転は、五分間で百六十ミリリットル程度の燃料を消費します。寒冷地などを除き、

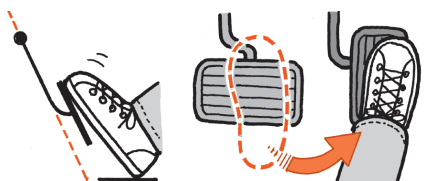
エンジンをかけたらずぐに出発。走りながら温める「ウォームアップ走行」で、時間と燃料が節約できます。

ポイント②発進時

経済産業省が推奨するやさしい発進「ふんわりアクセル『eスタート』」が、燃費向上の大きなポイントです。

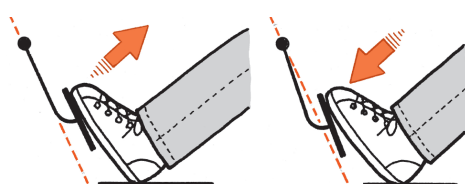
①ブレーキからアクセルへ一呼吸置く感じで足を移動する。

②アクセルに足を乗せる感じで踏み始める。



③五秒かけて時速二十キロメートルを目安に加速する。

④加速しすぎないよう流れの速度になる手前でアクセルを少し戻す。



「ふんわりアクセル『eスタート』」を実践するだけで、燃費は10パーセント程度良くなります。スタートは遅くても、市街地だとすぐに前の車に追いつきますよ」【岡田】。

ポイント③巡航時

車間距離に余裕をもって、

加減速の少ない運転に努めましょう。特に再加速は、燃料を多く消費します。速度とアクセルの踏み込みを控えるにすると、3パーセント程度燃費が良くなります。

「アクセルで微調整すると、自然と車間距離に余裕ができますよ」【岡田】。

ポイント④減速時

走行中アクセルを離してもしばらくは惰性で進みます。前方の車が停止、曲がること分かったら、早めにアクセルから足を離しましょう。2パーセント程度燃費が良くなります。

「エンジンブレーキを使うのも、エコドライブです。常に一つ先の動きを見ると、安全運転になりますよ」【岡田】。

ポイント⑤停止時

エンジン始動に必要な燃料は、アイドリング五秒分。したがって、五秒以上停止する場合は、アイドリングストップが有効です。

「エンジンを止めることに抵抗がある場合は、ギアをニュートラルにするだけでも燃費は良くなりますよ」【岡田】。



エコドライブ普及員養成講習に参加しました

左から渡辺利衛さん(72歳)・原嶋昇治さん(73歳)・井口吉三郎さん(70歳)・浅見弘さん(72歳)

1月19日に行われた同講習に参加したかわごえ環境ネットの皆さんに伺いました。

「思ったよりも効果があつて驚きました。アイドリングストップは難しいけど、無理のない範囲で実践したいです」と渡辺さんと原嶋さん。

井口さんと浅見さんは「勉強になりました。自分の車でちょっと練習して、マスターしたいですね」「年齢とともに反応時間が衰えるので、安全運転講習などでエコドライブを教えるだけでも良いのでは」と話していました。



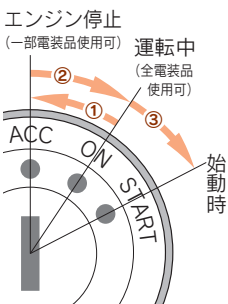
●アイドリングストップの方法

信号待ちなどの停車時、ブレーキを踏んだ状態で……

- (1)ギアを「N」(ニュートラル)にする。
- (2)エンジンキーを「ACC」まで回し、エンジンを切る(左図①)。
- (3)すぐにエンジンキーを「ON」まで回し、待機する(左図②)。

信号が変わるなどのタイミングを見計らって……

- (4)エンジンキーを「START」まで回し、エンジンをかける(左図③)。
- (5)ギアを「D」(ドライブ)にする。
- (6)ブレーキを離し、ふんわりアクセル「eスタート」で発進する。



*アイドリングストップは周囲の安全を確認してから、できる範囲で、無理なく行いましょう。



アイドリングストップ時の燃費計

エコドライブ 今回の結果

燃費は約2km/ℓ、15%改善しました。

	通常走行	エコドライブ
燃費	13.10km/ℓ	15.09km/ℓ
走行距離	14.07km	13.98km
走行時間	35分59秒	33分28秒
停止時間	10分46秒	6分4秒
停止回数	23回	17回

●エコドライブによる燃費改善の効果

同じ条件で年間10,000km 走行した場合。

- 10%改善すると ▶ ガソリン代約9,000円節約
二酸化炭素約160kg 削減
- 15%改善すると ▶ ガソリン代約13,000円節約
二酸化炭素約230kg 削減
- 20%改善すると ▶ ガソリン代約16,000円節約
二酸化炭素約290kg 削減
- 25%改善すると ▶ ガソリン代約20,000円節約
二酸化炭素約350kg 削減

* ガソリン1ℓ = 130円で計算。

燃費を知ろう!

今回の結果の詳細は左表の通りになりました。実際に運転した五味主事は「発進時はゆっくり走り走っていると感じました。でも、それ以外は違和感なく走行できました」。エコドライブを実践すると、平均20パーセント燃費を改善することができそうです。

今回行った実験は、特別な何かをしたわけではありません。発進と停止をゆっくり行う、無駄なアクセル操作をしないなど、運転するときの意識を少し変えれば実践できる

ことです。意識を変えるため

には、自分が運転する車の燃

費を知ることが必要。まずは

燃費を知り、過去の運転と比

べてみましょう。

経済産業省の「エコドライ

ブ普及推進事業」

を受託している会

社が運営する「レ

クー」というサイ

トがあります。無

料で簡単に燃費や

二酸化炭素排出量

を計算できます。また、燃費

計算の用紙を、環境政策課(本

庁舎五階)で配布しています。

是非活用してみてください。



続けていくために

十二億千四百万トン。環境省が発表した平成20年度の二酸化炭素排出量です。前年度から6・6パーセント減少しています。京都議定書の基準年度(平成2年)と比べると6・1パーセント増加しています。そのうち家庭からの排出量は、基準年度から34・2パーセント増加しています。

二酸化炭素排出量とガソリン代を減らすエコドライブは、発進と停止をゆっくり行うのがポイント。発進と停止が繰り返される場所は、交差点です。交差点は、事故が発生しやすい場所。発進と停止がゆっくりできれば、事故は減ります。エコドライブは、環境にやさしいだけでなく、コストと事故の確率を減らすことができる、正に一石三鳥の運転方法なのです。

「自分のため」が「環境のため」にもなる。それがエコドライブ。環境対策は続けていくことが大切です。できることから無理のないエコドライブを実践しましょう。

やってみよう!

エコドライブ

ふんわりアクセル(εスタート)
加速・減速の少ない運転
早めのアクセルオフ
アイドリングストップ

市では、市民の皆さんを対象に「エコドライブ教習会」を実施しています。平成22年度は11月に開催し、十二人が参加。参加者平均で11・7パーセント燃費が改善されました。平成23年度も開催を予定しています。詳細については後日、広報川越などでお知らせします。また、職員向けの教習会では、今までに二百七十人以上が受講。率先してエコドライブを実践しています。

●夫婦でエコドライブを実践しています



渡辺文雄さん(66歳)

三枝子さん(64歳)

省エネに関心を持つようになったのは、飼っているニシキゴイに酸素を送るモーターの電気代をほかでおん出できないか、と考えたのがきっかけと話す文雄さん。教習会の参加を契機に、エコドライブを実践しています。「燃費が倍近く良くなったこともあり。空気圧のチェックもまめにするようになりました。目に見える形にしていると、気にするようになりますよ」。三枝子さんは「なかなか今までの癖が抜けないけど、マイペースで少しずつ実践しています」と話していました。